

# 小中一貫教育校だより

このお知らせは、「練馬区立小中一貫教育校推進委員会」の協議内容等について、保護者や地域の皆様へお知らせするために発行しています。今回は、10月19日(月)第5回推進委員会および11月24日(火)第6回推進委員会の協議内容等についてお知らせします。

## ◆練馬区小中一貫教育資料作成委員会の経過報告

小中一貫教育校でも他校同様に練馬区で採択した教科書で教科指導を行います。一方で、9年間を見通した一貫した教育を実施するため、資料作成委員会において「表現力の育成」、「心の教育の推進」、「体力の向上」、「キャリア教育の推進」という4つの重視する事項を系統的に指導するための資料を作成しています。

これらの資料は、道徳の時間、総合的な学習の時間、特別活動などを中心に活用し、9年間を通した教育課程の土台としていきます。

第5回推進委員会の協議から、各部会の検討の視点、重視する指導項目について報告します。

### 〈各部会の検討〉

部会	表現力の育成	心の教育の推進	体力の向上	キャリア教育の推進
検討の視点	<ul style="list-style-type: none"> <li>表現する側に焦点をあてる。</li> <li>「語い力」は教科指導の中で9年間を通して指導する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>心の教育の進め方や豊かな心の内容などについて検討する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>体力を「運動するための体力」、「健康に生活するための体力」ととらえる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>文部科学省等の定義も踏まえ、部会として検討する。</li> </ul>
重視する指導項目	<ul style="list-style-type: none"> <li>調べる力</li> <li>構成する力</li> <li>表現する技能</li> <li>態度・相手意識</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>規範意識</li> <li>生命尊重</li> <li>自尊感情</li> <li>思いやりの心</li> <li>社会連帯の自覚</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>運動に必要な動きや技能</li> <li>運動の楽しさを味わい、意欲的に運動に親しむ態度</li> <li>健康を保持増進させるための知識や理解</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>自己肯定感・自立心</li> <li>望ましい勤労観・職業観</li> </ul>

### 〈委員の主な意見等〉

- キャリア教育については、夢を1つに決めるのではなく、選択肢や可能性を広げる教育をしてほしい。
- I～Ⅲ期までの発達段階に応じた学習期ごとに、特徴をもたせた指導資料とすべきである。
- 発達段階に即した効果的な指導方法を提示すべきである。

◆なお、今後は資料作成委員会各部会の要点記録をホームページに掲載します。いただいたご意見等は、資料作成委員会での検討の参考にいたします。

## ◆学校経営等について

他の自治体（品川区、足立区、三鷹市）の先行事例を参考にして、本区の小中一貫教育校の学校経営体制や特色などについて、意見交換を行いました。また、大泉学園桜小学校長から、大泉学園桜小・中学校の教職員合同による小中一貫教育校連絡会を開催し、4つの分科会（教務、生活、学習、庶務）に分かれて準備を進めている旨の報告がありました。

分科会	検討事項
教務	<ul style="list-style-type: none"> <li>小学校の展覧会への中学生の参加</li> <li>運動会、合唱祭の合同開催に向けた課題整理</li> </ul>
生活	<ul style="list-style-type: none"> <li>クリーン運動、盲導犬募金の合同開催</li> <li>中学校の部活動への小学校6年生の参加</li> </ul>
学習	<ul style="list-style-type: none"> <li>道徳授業地区公開講座、書き初め展の小中合同開催</li> </ul>
庶務	<ul style="list-style-type: none"> <li>小中一貫教育校開校に向けた庶務に関する情報交換</li> </ul>

## ◆練馬区立小中一貫教育校に関するアンケートについて

第6回推進委員会において、練馬区教育委員会が練馬区立小中一貫教育校の実施計画を策定する際の参考とするため実施したアンケート調査速報の報告がありました。

ご協力いただきました方々に心からお礼を申し上げます。

(1) 調査実施時期 平成21年9月17日～10月16日

(2) 調査対象、回収率等

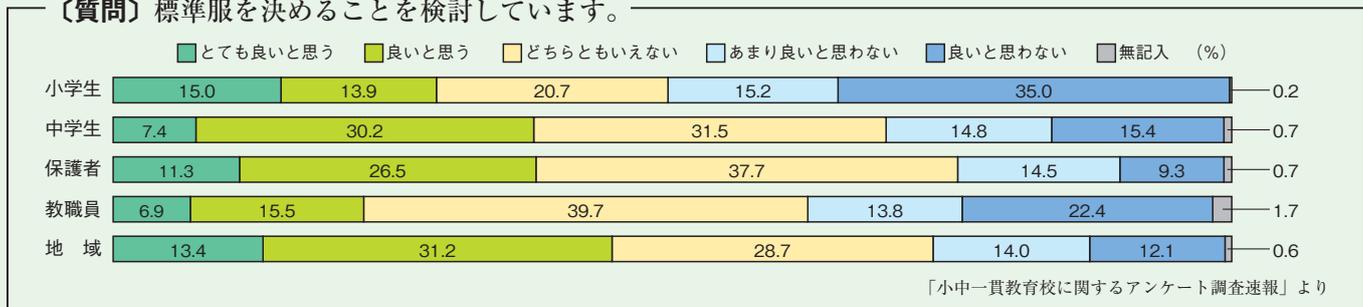
調査対象	送付数(人)	回収数(人)	回収率(%)	調査方法	備考
小学生(小4～6)	532	526	98.9	学校において配付・回収	桜小、緑小
中学生(中1～3)	153	149	97.4	学校において配付・回収	桜中
保護者(小1～中3)	1,029	724	70.4	学校から児童生徒を通して配付・回収	3校
教職員	68	58	85.3	学校において配付・回収	3校
地域住民(20歳以上)	503	157	31.2	郵送による配付・回収	3校の通学区
合計	2,285	1,614	70.6		

※3校とは、桜小、緑小、桜中である。

## ◆標準服について

他の自治体の導入状況や今回実施したアンケート調査速報の結果を参考にして、意見交換を行いました。

〔質問〕標準服を決めることを検討しています。



### 〈委員の主な意見等〉

- 小学生は成長が早いため、1年生で買った標準服を6年生まで着ることは難しい。一貫校では共通の標準服があると理想的ではあると思うが、経済的な問題もあり、保護者に受け入れてもらえるか心配である。
- 標準服については肯定的な意見や否定的な意見など様々である。例えば自由購入にすることは考えられないか。
- 視察した足立区興本<sup>おきもと</sup>扇<sup>おうぎ</sup>学園では、5～9年生が同じ校舎で学んでいたが、5・6年生は私服、7～9年生は標準服を着用していたため、違和感を覚えた。
- 9年間の帰属意識や経済性の観点から標準服はあったほうが良いと思う。
- 標準服に関してもう少し詳しく保護者の意見を聞いてみたい。
- 標準服には教育的効果が認められると考えている。
- 標準服の導入にあたっては、移行期間が必要である。桜中が開校したときも標準服を一斉にそろえたわけではなかったと記憶している。
- アンケート調査や現役の保護者の意見を参考にすると良いと思う。



◆今後、大泉学園桜小学校と大泉学園桜中学校において、標準服の検討を進めていくことになりました。

### 練馬区立小中一貫教育校推進委員会事務局

練馬区教育委員会 学校教育部 新しい学校づくり担当課・教育指導課  
 TEL: 03-5984-1065 FAX: 03-3993-1196  
<http://www.city.nerima.tokyo.jp/gakkou/atarasi/atarasi.html>  
 ※推進委員会の資料・要点記録は、大泉学園桜小学校、大泉学園桜中学校、大泉学園緑小学校および新しい学校づくり担当課(区役所本庁舎12階)で閲覧できます。

### 推進委員会(第7回)の開催予定

日時: 12月16日(水) 10時00分～  
 場所: 大泉学園桜中学校(2階 会議室)  
 案件: アンケート調査結果の報告など  
 ※傍聴をご希望の方は、直接会場へお越しください。